

Motto 楽しむと!
たわらもと!



〈以下は広告スペースです〉



えのき広場 グラウンドゴルフ場

子どもから高齢者まで手軽に楽しめるグラウンドゴルフ。専用のクラブ、ボール、ホールポストを使って、ゴルフのようにホールインするまでの打数を競い合うスポーツです。

📍田原本町法貴寺・東井上地内 📞34-2115(まちづくり建設課調査管理係) 🕒9:00~17:00 ※使用料金が必要です。📅毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合はその翌日以降最も近い平日)、年末年始(12月28日~1月4日)



ともば!たわらもと(仮称)

幼児から高齢者まで、四季折々の草花樹木に親しんでいただくことができます。また、令和8年度春から防災機能を有する公園が利用できるようになり、多くの方が楽しめる施設となります。

📍田原本町金剛寺地内

地域の憩いの場です!



しきのみち

はせがわ展望公園

変化に富んだ河川ルート公園で片道約3.5キロメートルのウォーキングに最適な公園です。またさくら広場などがあり、春には大きなシダレザクラを望むことができる公園です。

📍田原本町八田~蔵堂地内



田原本町 イベント広場

「触れ合い、語らい、憩い」をテーマに住民の交流とふれあいの場となるエリアと屋外ステージで各種イベントやレクリエーションを開催していただくための施設です。

📍田原本町550番地外 📞34-2115(まちづくり建設課調査管理係)
🕒〈コミュニティホール(和室A・B・C)〉9:00~22:00 / 〈屋外ステージ〉9:00~21:00
※使用料金が必要です。📅年末年始(12月28日~1月4日)



スケートボードパーク

屋根を設置しており、雨の日でもスケートボードが楽しめる施設です。ヘルメットなどの防具の貸し出しも行っています。(スケートボードはご持参ください)中央体育館事務所にて使用受付を行っています。※使用料金が必要です。

📍田原本町平田46番地(田原本町中央体育館内) 📞33-5882(文化振興課スポーツ振興係)
🕒9:00~21:00(使用受付時間は17:00まで)
📅毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日以降最も近い平日)、年末年始(12月28日~1月4日)

01 公園と広場編

身体を動かす、
四季の花々に触れるなど、
思い思いにリフレッシュを

(以下は広告スペースです)

Motto 楽しもつと!
たわらもと!

02

唐古・鍵遺跡編

弥生時代のムラがここに。
想い巡らせ、歴史ロマンに浸る

田原本町ガイド

ヒスイ勾玉と褐鉄鉢容器

2000年に、唐古・鍵遺跡から見つかりました。新潟県姫川産のヒスイでつくられた弥生時代でも最大級・最上級の勾玉です。この2つの勾玉は、褐鉄鉢容器(良質な粘土の周辺に鉄分が凝縮して生成された自然の鉢物)の中に納められていました。このようなものは、全国でも類例がありません。まさに、ヒスイ勾玉をいれた弥生時代の宝宝箱といえます。



ようこそ
2000年前の
ムラへ!

唐古・鍵遺跡

からこ・かぎいせき

田原本町大字唐古から鍵にかけて所在する弥生時代の環濠集落遺跡です。集落は、多重環濠を有し、大型建物や高床・竪穴建物、木器貯蔵穴、井戸、区画溝などで構成され、大環濠(内濠)は直径400mの範囲を囲み、外濠を含めた全体では約42万㎡の面積を占めます。土器、農工具・容器などの木製品、石鏃や石庖丁などの石器、骨角器、ト骨などの祭祀に関する物、炭化米、種子、獣骨類など多種多様な動植物、さらには銅鐸の鋳型などの鋳造に関する物、褐鉄鉢容器に入ったヒスイ製勾玉、楼閣が描かれた絵画土器など特殊な物も出土していることから本遺跡は、近畿地方の盟主的な集落と考えられています。



唐古・鍵遺跡
キャラクター
楼閣くん



(以下は広告スペースです)

弥生時代の
大型建物の柱を
再現しています



唐古・鍵遺跡 史跡公園

弥生時代の風景を再現し、かつての生活を追体験できる公園。広大な面積を持ち、ウォーキングや遊び、イベント、歴史的な学習といった、さまざまな活用ができる場です。

📍 田原本町大字唐古50番地の2 📞 34-5500 (唐古・鍵遺跡史跡公園事務所)
🕒 9:00～17:00 (入園時間は16:30まで) 📅 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は開園し、次の平日が休園)、年末年始 (12月28日～1月4日)

唐古・鍵バーチャルミュージアム

お手元のスマートフォン・パソコンで、唐古・鍵考古学ミュージアムの展示品を見ることができます。



唐古・鍵 考古学ミュージアム

唐古・鍵考古学ミュージアムでは、これまでの調査で出土した膨大な資料の中から、弥生の逸品を展示しています。

📍 田原本町阪手233-1 田原本青垣生涯学習センター 2階
📞 34-7100 🕒 9:00～17:00 (入館は16:30まで) 📅 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、次の平日が休館)、年末年始 (12月28日～1月4日) 💰 大人200円、高校生・大学生等100円 ※特別展・企画展の観覧料は別に定めます。 ※団体 (20名以上) 割引があります。



第1室



唐古・鍵ムラの全景をジオラマで展示するほか、弥生時代の環境や生業などをテーマに展示しています。

第2室



唐古・鍵遺跡の出土品のうち、特に重要な品々を展示します。魅力あふれる弥生の逸品が並びます。

第3室



唐古・鍵遺跡周辺の遺跡、また弥生時代の終わりから古墳時代の始まりをテーマに展示しています。

〈以下は広告スペースです〉



▲北側から見た黒田大塚古墳

くろだおおつかこふん

黒田大塚古墳 (県指定史跡)

6世紀初頭の前方後円墳で、全長は86mを測ります。6次に及ぶ発掘調査で、周濠から埴輪や蓋形木製品が出土しました。奈良盆地低地部では、墳丘が残る数少ない古墳で県の史跡に指定されています。

📍田原本町大字黒田

もくぞうふどうみょうおうりゅうぞう

せんまんいん
千萬院

木造不動明王立像

(国指定文化財 平安時代 (12世紀初頭))

高さ80cm足らずの小ぶりな不動明王像です。衣に残る彩色や、繊細な截金文様(きりかねもんよう:金箔を細長い線状に切ったものを貼り文様などをあらわす技法)、ゆるやかな抑揚の肉付けなど、平安時代後期に特徴的な優美な表現がみられます。



せんまんいん
千萬院

もくぞうじゅういちめんかんのりんりゅうぞう

木造十一面観音立像

(町指定文化財 室町時代 (天文10年・1541年))

等身大を超える高さの十一面観音像です。戦国時代の奈良で活躍した大工出身の「宿院仏師」(しゅくいんぶっし)の初期の代表作の一つです。

03 古墳や出土品・指定文化財編

今なおカタチを遺す
先人の暮らしの知恵や祈り

はごたいせき

羽子田遺跡の埴輪牛

(国重要文化財)

明治30年に羽子田遺跡(羽子田1号墳)から出土しました。埴輪は、大きな胴体に小さな頭部、肉付きの豊かな胸や背中、角の痕跡など写実的な作りで、牛の特徴をよく表しています。



全体像がわかる
貴重な埴輪です

どんぐりやまこふん

栗山古墳

6世紀前半の古墳で、現状では径30mほどの円墳状を呈しています。昭和11年に行われた道路敷設の土取り中に、土器・鉄製品など豊富な副葬品が出土しました。📍田原本町大字矢部



(以下は広告スペースです)

教養の豆知識 文化財って?



文化財は、長い歴史の中で生まれ、はぐくまれてきました。

そして、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産です。

このため国は、文化財保護法に基づき重要なものを国宝、重要文化財、史跡、名勝、天然記念物等として指定、選定、登録しています。

現状変更や輸出などについて一定の制限を課す一方で、保存修理や防災施設の設置、史跡等の公有化等に対し補助を行うことで文化財の保存を図っています。また、文化財の公開施設の整備に対し補助を行ったり、展覧会などによる文化財の鑑賞機会の拡大を図ったりするなど文化財の活用のための措置も講じています。

さらに、国を代表する文化遺産の中から顕著な普遍的価値を有するものをユネスコに推薦し、世界文化遺産への登録を推進しています。

文化庁HP「文化財」(<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/>)の内容を引用・編集・加工して作成



浄福寺

もくぞうあみだによらいおよびりょうぎょうじぞう

木造阿弥陀如来及両脇侍像

県指定文化財 鎌倉時代(13世紀初頭)

来迎印を結ぶ阿弥陀如来、蓮台を捧げる観音菩薩、合掌する勢至菩薩からなる阿弥陀三尊像です。この姿は、臨終を迎える者のもとに極楽浄土から阿弥陀三尊が迎えに来た場面を表しています。

多神社

もくぞうおおのやすまろしんぞう

木造太安萬侶神像

町指定文化財 室町時代(15~16世紀)

太安萬侶は『古事記』の編纂者です。古代氏族 多氏の祖先神として太安萬侶が神格化された像として貴重なものです。



〈以下は広告スペースです〉



もくぞうやくしによらいざぞう

やくしどう(みやこ) 薬師堂(宮古)

木造薬師如来坐像

国指定文化財 平安時代(9世紀末)

檜の一材でほぼ全容を彫りだした重厚感のあるもので、大きめの頭部はやや面長で頬の張った下ぶくれの特徴がみられます。



本光明寺

もくぞうじゅういちめんかんのりゅうぞう

木造十一面観音立像

国指定文化財 平安時代(11世紀後半)

頭と体部の幹部を桂の一材から彫りだし、背中側をくり貫き、背板をあてた構造になっている十一面観音立像。板光背と簡素古様な蓮華台座とも、当初のものが揃っている大変貴重な例です。



安養寺

もくぞうあみだによらいりゅうぞう

木造阿弥陀如来立像

国指定文化財 鎌倉時代(13世紀初頭)

▲衣文

壮年期の快慶の作品とされている木造阿弥陀如来立像。眼の見開きが強くなく、頬に張りがあるふくよかな容貌が特徴です。また、流麗な衣文線や像の仕上げに金色をつや消しする粉溜技法を用いているなど、快慶仏の特色がみられます。

〈以下は広告スペースです〉



Motto 楽しもつと!
たわらもと!

古代の鏡作の工人集団・鏡作部たちが住み着いた鏡作郷。鏡作神社は、この「鏡製作の聖地」に鎮座しています。祭神は、鏡作部の遠祖・石凝姥命(いしこりだめのみこと)、天照国照日子火明命(あまてるくにてるひこほあかりのみこと)、天糠戸命(あめのぬかどのみこと)の三神。

📍田原本町大字八尾816



かがみつくりじんじゃ
鏡作神社



ふがんじ

補厳寺の納帳

町指定文化財

補厳寺に残る納帳は、寺の土地台帳に当たるもので、ほぼ同じ内容のものが4冊残存しています。約45町歩に及ぶ田畠は、十市郡を中心に城上・城下郡に広がり、作主の名前のほかに村落や小字の名称が記載されています。

土地の変遷を
知る上で
貴重な資料です



大和平野の低地にあった古代の田原本には、日本最古の歴史書「古事記」と正史「日本書紀」という、日本の成り立ちを伝える「記紀」にゆかりのある神社があります。



おおじんじゃ

多神社

祭神は神武天皇・神八井耳命・神淳名川耳命(綏靖天皇)・姫御神(玉依姫)の四柱で、このうち神八井耳命は、太安萬侶らをはじめとする多氏の祖とされています。

📍田原本町大字多569

古代の豪族・多(おお)氏の族長である太安萬侶は、「古事記」「日本書紀」の両方の編纂に携わったとされています。※神像についてはP19へ



04 古社寺編

「古事記」「日本書紀」に
ゆかりある
歴史的神社の数々



教養の豆知識 文化財の種類、指定・選定・登録

文化財保護法では、文化財を「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」及び「伝統的建造物群」と定義しています。これらのうち、重要なものを国が指定・選定・登録し、重点的に保護しています。文化財の指定・選定・登録は、文部科学大臣が文化審議会に諮問し、その答申を受けて行くとされています。

また、無形文化財、無形民俗文化財では、指定のほかに記録作成等の措置を講ずべきものを文化庁長官が選択し、その記録の作成に努めています。ほかに、土地に埋蔵されている文化財を埋蔵文化財、文化財の保存・修理に必要な伝統的技術・技能を文化財の保存技術と呼び、保護の対象としています。

国が指定等を行った文化財の件数は時代の変遷や新発見、学術的な調査研究の進展等に応じて、着実に増加しています。それらの文化財については、その種類に応じて、現状変更等に一定の制限が課される一方、修理等に対する国庫補助を行うなど、保存及び活用のために必要な各種の措置が講じられています。



文化庁HP「概要」(<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/gaiyo/>)の内容を引用・編集・加工して作成

ひらのごんべいながやす
まちの発展の礎となった田原本の領主 **平野権平長泰**

天正7年(1579)、21歳のころから羽柴秀吉(豊臣秀吉)に仕え、天正11年(1583)、賤ヶ岳の戦いで柴田勝家の軍を討ち、秀吉の天下取りに大きく貢献しました。このときの功績によって、福島正則、加藤清正とともに、「賤ヶ岳の七本槍(しずがたけのしちほんやり)」と称されました。その後、賤ヶ岳の旧功が見直され、文禄4年(1595)に田原本町などの領地が与えられました。この時、豊臣秀吉が長泰に宛てた感状は、町の文化財に指定されています。



▲長泰が実際に合戦で用いていたとされる槍の穂先(本誓寺蔵)



▲平野権平宛羽柴秀吉判物(福岡洋介氏所蔵/町指定文化財)



▲平野権平宛豊臣秀吉朱印状(福岡洋介氏所蔵/町指定文化財)

▼賤ヶ岳合戦図屏風(大阪城天守閣蔵)



◀平野権平長泰



いけじんじゃ
池神社

祭神は天万栲幡千千比売命・菅原道真で、明治初年ごろまでは天満宮と称されていました。中世の天満宮は、在地豪族長谷川党の鎮守でした。近世以降も法貴寺の実相院が社僧として社務全般を支配し、この関係は神仏分離により法貴寺から池神社が切り離されるまで続きました。

📍田原本町大字法貴寺502



つしまじんじゃ
津島神社

神仏分離以前は祇園社と称しました。夏には祇園祭が催され、「祇園さん」の愛称で親しまれています。祭神は素戔鳴命、櫛名田姫命、菅田別命、天児屋根命などで、本来は牛頭天王を祭神とする田原本村の産土神だったと考えられます。江戸時代には、領主平野家の尊崇をあつめ、毎年米1石5斗の寄進を受けました。明治2年には、平野家の本貫地尾張国津島にあった津島社も祭神を牛頭天王とすることから、社名を津島神社と改めました。

📍田原本町549

(以下は広告スペースです)



むらやじんじゃ
村屋神社



「日本書紀」には、壬申の乱の際、大海人皇子(後の天武天皇)軍に神のお告げを与え、勝利に導いたと記されている村屋神社。この功により、神社で初めて位を賜った古社といわれています。三穂津姫命と三輪の大物主命の夫婦神をお祀りし、縁結びの神、稲作の神として知られています。

📍田原本町大字蔵堂426



Motto 楽しもつと!
たわらもと!



1月

初戎

◆ 1月10日前後の日曜日・祝日 ♡ 津島神社

津島神社の境内にある戎神社では、商売繁盛・家内安全などを祈る初戎の祭りがあり、福笹が売られます。



2月

おんだまつり 御田祭

◆ 2月11日 ♡ 村屋神社

◆ 2月21日に近い日曜日 ♡ 鏡作神社

◆ 2月22日に近い日曜日 ♡ 池神社

五穀豊穡を祈願する農耕行事。町内の3神社で行われます。

祭とイベント編

05

伝統を重んじ、
季節に伴走する町の
行事の数々に
町が躍動



2月

けちんさい 華鎮祭

◆ 2月第4日曜日

♡ 八坂神社(阪手北)

五穀豊穡と村人の無災を祈るために行われる古典味豊かな神事。弓矢で悪霊をうちすくめ、その年の安泰を祈り、豊かな稲作を願う正月の行事です。

4月



おおれんぞ

◆ 4月第3日曜日 ♡ 多神社

五穀豊穡を神に祈る春祭りで、午前に神事が行われ、午後には芸能奉納が行われ、最後には「おもちまき」が行われます。

〈以下は広告スペースです〉

綱掛け

◆ 5月5日 ◆ 矢部地内

農作物が豊作であるように、また村に邪霊が入らないようにと祈願する祭りで、江戸時代から続いているといわれています。



6月

蛇巻き

◆ 6月第1日曜日

◆ 杵築神社(今里)・八坂神社(鍵)

旧暦の5月5日に行われる行事です。やがてくる田植え時に雨が降るようにという祈りを含んでいます。



なこ夏越し大祓い

◆ 6月30日 ◆ 村屋神社

半年間の無事を感謝するとともに、残りの半年間の息災を祈願するもので、奈良時代の宮中行事であり、日本最古の宗教儀礼ともいわれています。



6月

ぎおんまつり 祇園祭

7月

◆ 7月20日前後の土・日曜日

◆ 津島神社(イベント広場とその周辺)

五穀豊穡、悪疫退散を祈り、毎年7月に行われる津島神社の例祭で、通称「祇園さん」で親しまれています。



10月



十六市

◆ 10月16日に近い日曜日

◆ イベント広場、浄照寺周辺

昔、毎月16日に浄照寺前で市が開かれていたことに由来。地域活性化のひとつとしてフリーマーケットや模擬店、イベントなどが行われています。

10月



秋祭り

◆ 10月中旬(宵宮・例祭) ◆ 村屋神社

巫女が平神楽、扇の舞、剣の舞、矛の舞など、代々伝えられてきた神楽(代々神楽)を舞い神様に奉納します。

◆ 10月第4土・日曜日 ◆ 鏡作神社

宵宮に行われる「あかりの祭」では、境内がろうそくの明かりに包まれ、幻想的な雰囲気になります。

◆ 10月19日に近い土・日曜日 ◆ 池神社

華やかに飾りつけられた5台の山車により「宮入り」が行われます。山車は拝殿の前に並べられ、神楽や祭り囃子などが奉じられます。

※社会情勢などにより、掲載のイベントが中止になる場合もあります。

(以下は広告スペースです)

06

豊かな大地と
生産者の心遣いに育まれた
名品に出会う

田原本ブランド編

あじま 味間いも

おもに田原本町味間地区で昭和初期から生産されているさといもの一種で、平成26年に「大和の伝統野菜」※に認定されています。通常のさといもより希少価値が高く、切った断面が白く粘り気が強いのが特徴です。

※「大和の伝統野菜」とは、戦前から奈良県内で生産が確認されている品目で、地域の歴史・文化を受け継いだ独特の栽培方法等により、「味・香り・形態・来歴」などに特徴を持つものを奈良県が「大和の伝統野菜」として認定しています。



4～5月に
種芋を植え付け
10月下旬～2月頃まで
収穫します

味間いもをおいしく食べよう♡

ホームページで畿央大学健康栄養学科の学生が考えた「味間いもアイデアレシピ」を紹介しています。皆さんも色々な食べ方を試してみてくださいね。



出荷時期は
12月～5月
下旬頃



ことか 古都華

2011年(平成23年)に品種登録された奈良でしか生産できないブランドいちご。果皮はツヤのある濃いルビー色、果肉は淡紅色。強く甘い香りが特徴で、比較的糖度が高く味わいは濃厚。適度な酸味も味わえます。果実は細長くスマートで大粒。日持ちがよく、収穫時期による酸度の変動も少ないので、シーズンを通して味のばらつきが少ないです。

このページのお問い合わせは ☎ 34-2080 (かせぐ地域課農政係)

〈以下は広告スペースです〉